

鯨

いさな

第21号

昭島市郷土資料室
 〒196-0012
 昭島市つつじが丘
 3丁目3番15号
 アキシマエンシス
 国際交流教養文化棟1階
 TEL:042-543-1523
 FAX:042-542-8002
 (昭島市民図書館共通)

図 A: 諏訪神社建物明細絵図
 B: 絵図内に描かれている厳島神社 (拡大図)
 C: 現在の厳島神社 (諏訪神社境内)



絵図で見る昭島市内の「諏訪神社」と「厳島神社」!!

昭島市郷土資料室では、四月現在開催中の企画展示「宮沢町諏訪神社祭礼展示」にて、宮沢町諏訪神社で現在使用されているお祭りの道具などを展示し、昔の諏訪神社のことや、お祭りをはじめとする行事を紹介しています。

展示している史料の中で、明治二十一年(一八八八年)に作成された「諏訪神社建物明細絵図」(図A)は、明治時代の諏訪神社の様子がわかる貴重な絵図です。絵図を見ると、境内の湧き水から出る水に囲まれた祠があり、これが、今でも残る「厳島神社」であることがわかります(図B・C)。

この神社は、地元の人たちの間では、「弁天様」と呼ばれています。「弁天様」は、一般的に七福神の神様である「弁財天」としても知られ、美術や音楽などの芸能のほか、池・湖・川・海などの水辺でまつられていることから、水の神様としても知られています。実際に、宮沢町の厳島神社は今も池に囲まれる形でまつられています。

また、昔の厳島神社の行事がわかる史料として、「雨乞諸入費帳」(江戸時代終わりから明治時代頃)があります。「雨乞諸入費帳」には、雨乞※をする時に、村の人たちから寄付してもらったお金の金額や贈り物の品目などが書かれています。このことから、宮沢町の厳島神社では、雨乞が行事として行われていたことが考えられます。

この史料二点は、昭島市内の個人宅からみつきり、企画展示のために借り受けたものです。これらの史料を調べることで、宮沢町の諏訪神社の昔の様子や、かつて雨乞の行事があったことがわかりました。このように、地域に残された史料を読み取ることで、当時の様子がわかってきます。

本企画展を観覧されるにあたり、昭島市宮沢町において脈々と引き継がれてきた史料や祭礼行事について、想いを巡らせていただければ幸いです。

※雨乞: 雨が降るように、神様や仏様へお祈りをする事。

令和八年 四月～六月のおもな展示・イベント予定

◎企画展示 「宮沢町諏訪神社祭礼展示」

展示期間：令和八年二月三日（火）～四月二十六日（日）
展示内容：市内諏訪神社にて使われているお祭りの道具やお祭りにまつわる古文書を展示します。



展示会場の様子①



展示会場の様子②



展示会場の様子③

◎企画展示 「言葉から学ぶ！ 昔の道具展」

展示期間：令和八年四月二十八日（火）～七月二十日（月・祝）
展示内容：「ことわざ」や「慣用語」などに登場する昔の道具を展示します。
※ 展示期間は、後続の企画展の開始期日の調整により変更する場合があります。

イベント 「春のフジと大日堂・日吉神社見学会」

開催日時：令和八年四月下旬頃（予定）
内容：フジの開花に合わせて市内の大日堂や日吉神社周辺の文化財をご案内します。

※ フジの開花時期は年毎に異なります。また荒天の場合、イベントを中止することがあります。詳しい情報は、アキシマエンスシスのホームページをご覧ください。

昭島市郷土資料室の展示やイベントの最新情報は、アキシマエンスシスのホームページ
(https://www.akishimaensis.jp/guide/heritage_list.html) またはアキシマエンスシス公式X (@akishima_ensis) へ見ることでございます。

Xはこちら ホームページはこちら



利用案内

○開室時間

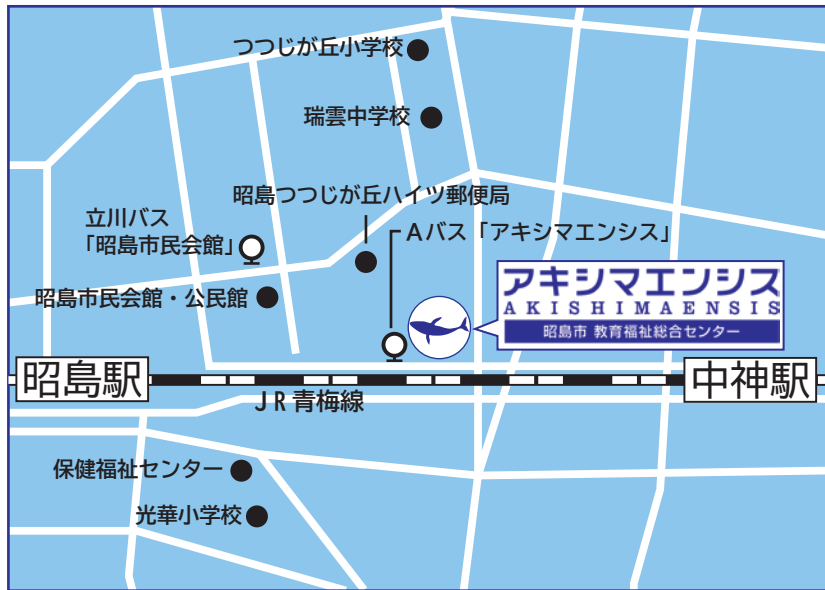
昭島市郷土資料室
火曜日～金曜日
土・日・祝日
午前10時～午後8時
午前10時～午後6時

郷土資料展示室
火曜日～日曜日・祝日
午前10時～午後5時

（見学を希望される方は郷土資料室のスタッフにお声がけください）

○休室日

月曜日（休日の場合は翌平日）、年末年始、特別整理期間



○交通アクセス・アクセスマップ

JR青梅線 昭島駅・中神駅より徒歩10分

立川バス（昭22、昭23、昭23-2・昭24、昭26、拝13）
「昭島市民会館」下車徒歩5分

Aバス（北ルート） 「アキシマエンスシス」下車すぐ